

安心して学べる学校を、これからも

虹の原では、校舎外壁改修工事の第 2 期工事が始まります。

工事場所は、小中学部棟と作業棟。令和 9 年 1 月末の完了を予定しています。

昨年度の第 1 期工事に続き、今回も、児童生徒の学校生活の動線が変わったり、保護者の皆さまや教職員の駐車場の利用に制限が生じたりする場合があるなど、しばらくの間、ご協力をお願いすることになります。

また、工事車両の出入りや作業音など、学校生活の中で気を付けなければならないことも増えてきます。特に、環境の変化が子どもたちに及ぼす影響を十分に踏まえ、子どもたち一人一人の様子を丁寧に見取りながら、落ち着いて学校生活を送れるよう配慮に努めていきます。

こうしたご不便をおかけする一方で、今回の工事には、これからの虹の原を支えていくための大切な意味があります。

学校の建物も、時間とともに少しずつ変化していきます。外壁の劣化や雨水の浸入を防ぎ、建物が本来もっている安全性や機能を長く保つためには、適切な時期に手を入れていくことが欠かせません。

学校の環境を整えることは、単に建物をきれいにするものではありません。子どもたちが今日も安心して学び、生活できること、そして、これから先もこの学校で学びを積み重ねていくこと。その両方を支えるための大切な基盤です。だからこそ、今回の工事を、単なる「修繕」ではなく、子どもたちの学びと生活を支える「学校づくり」の一環として捉えています。

工事期間中は、仮設足場や工事車両、資材等の安全管理を徹底するとともに、児童生徒の動線や学習活動への影響をできる限り小さくできるよう、工事関係者と綿密に調整していきます。また、駐車場や校内の通行等について変更がある場合には、「tetoru」等を活用し、できるだけ早く、分かりやすくお知らせします。

工事が終わったとき、きれいになった校舎を見るだけでなく、「これからも、この学校で子どもたちの学びを支えていける」という安心を、皆さまと一緒に感じられたらと思います。

子どもたちの今を大切にしながら、その先の学びや生活を支える学校であり続けるために今回の第 2 期工事も、皆さまとともに進めていきたいと思っています。

工事期間中のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



令和 8 年 9 月 7 日 現在

「やってみよう」、「もう一度やってみよう」、「最後までやってみよう」
この言葉を大切に、魅力ある虹の原の教育を育んでいきます。